

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
精神看護学特論V(地域精神看護)	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松丸直美			
授業概要	早期退院、退院促進、地域連携を強化することをねらいとした地域精神看護に必要な知識と技術、地域連携の実践を学び、高度実践看護師として卓越した看護実践ができる能力を養う。 ☆サブスペシャリティに応じて、特論ⅣかⅤのどちらかを選択。両方取ることも可能とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急・急性期患者の受け入れから、スムーズな地域移行までの一連の流れに着目し、病院内ケアと地域連携について学ぶ。 2. 慢性期患者のストレングスに着目し、QOLを高めるセルフケア支援を実践する能力を養い、退院促進のための方略を習得する。 3. ACT(重症精神障害者の地域支援)の方法について学び、実践に応用できる能力を養う。 4. 地域精神保健福祉の現状と課題、および地域包括ケアシステムについて理解する。 5. 訪問看護の実践について学び、地域支援と連携強化に向けた実践について探求する。 6. セルフヘルプの理論、当事者活動の実践について理解し、当事者のリカバリーを支える看護について探求する。 7. 安房地区の地域移行支援事業協議会の実際を把握し、この地区の地域移行の課題について把握する。 			
履修条件	精神看護学特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修済みのこと			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	急性期患者の入院から地域移行までの支援：急性期患者の地域移行について文献と事例を通して学ぶ。	田中	
	3-4	慢性期患者へのセルフケア支援と退院促進：慢性期患者のセルフケア支援と退院促進について、文献と事例を通して学ぶ。	田中	
	5-6	ACTと退院促進・地域連携：ACTの理論と退院促進・地域連携の実際について文献を通して学ぶ。	田中	
	7-8	地域包括ケアシステム：地域精神保健福祉の現状と課題、および精神障害者のための地域包括ケアシステムについて学ぶ。	田中	
	9-10	訪問看護：訪問看護の実際を、事例を通して学ぶ。	田中	
	11-12	セルフヘルプと当事者のリカバリー支援：安房地区のセルフヘルプの現状について調べ、当事者のリカバリー支援のための課題を把握する。	田中・松丸	
	13-14	千葉県安房地区の地域移行支援事業：安房地区の地域移行支援事業の現状について調べ、この地区の課題について整理する。	田中・中島・松丸	
	15	安房地区の精神障害者地域移行支援の現状と課題：調べたことをもとに発表し、ディスカッションを通して、課題を共有する。	田中・中島・松丸	
教科書	特に指定せず。			
参考書	適宜紹介。			
評価方法・基準	講義および討議への参加度30%、レポート70%とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおく(1時間程度)。事後には、実践や講義で学んだことを応用すること(2時間程度)。			
備考	特になし			